

2 目標達成計画

事業所名: グループホーム 笹の木

作成日: 平成22年5月22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|--|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 4 | 運営推進委員会を開催しているがホーム内の状況報告、行事報告、事故防止や感染症対策の報告が主である。意見交換の場としてサービス向上に活かしたい。 | 運営推進会議を通して、災害対策や安全安心に関する支援のあり方や同じ地域にある他の施設との意見交換が出来る機会とする。 | 運営推進会議に委員の参加だけでなく意見を聞くグループホームを知って頂くために1名でも消防署、交番の方、保育園、スーパーの方等に参加してもらうよう働きかける。 | 6 か月 |
| 2 | 8 | 権利擁護について後見人制度を活用している方もあるが職員全員が理解できていない。 | 西和賀町や施設における権利擁護について話を聞く機会を持つ。 | 権利擁護委員の方にグループホームを見て頂き、職員研修の場を設ける。1回で終了するのではなく数回に分けて頂く。 | 3 か月 |
| 3 | 10 | 運営に関する利用者、家族等の意見、要望を表わせる機会がほとんどない。 | 意見要望を聞き出す機会を持ち記録に残すことで運営に反映させられる。 | ケアマネだけでなく普段の会話に出てくるあるいは聞き出した要望を生活記録に残す。家族についても面会時会話の中に意見を頂けるよう努力し記録として残し共用していく。 | 10 か月 |
| 4 | 18 | 朝の時間は共に暮らしを支え合う様子があるが、日中は介護する人される人と別れてしまう傾向にある。 | 一日を通して暮らしを実感できる場となる。 | 介護度にもよりますが声掛けで出来ることがある方は一緒に行ったり見ているもらう。一緒にお茶を飲んだりゆっくり話をする時間を大切にする。 | 10 か月 |
| 5 | 19 | 面会時や月1度の手紙等で本人の様子を知って頂いていたがもっと気軽にホームに来ていただけませんか？ | ご家族にとってもグループホームがより所として立ち寄れる場となる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・行事の際は声をかけ一緒に参加して頂く。 ・家族の方にやって頂ける事があればお願いしていく。畑仕事や草取り等々。 ・家族会議等出来るよう準備していく。 | 12 か月 |